

# 第1回きずなづくりトーク（山田小学校区） 概要記録

平成24年7月5日  
市民体育館

発言者	発言要旨
テーマ みんなでふれあい創出	
自治会長	昨年、山田学区の町内会長協議会がなくなってしまった。自治会連合会の地区の分け方を校区别にしてほしい。昨年は子ども会と共催で餅つき大会を実施した。地区の夏祭りは今年で29回目になる。防災訓練は楽しく行えているので好評を得ている。子どもは地域の宝事業は同意者が1名しかいなかったが、餅つき大会の後にお祝いをした。
自治会長	8月に町内単独で納涼祭を行っている。昨年、初めて子どもは地域の宝事業を行った。子どもと親のふれあいができるので、きずなづくりのために良い事業だと思う。今年、老人クラブが解散してしまった。原因は、従来の内部組織が崩れてしまったから。個人の意識の変化が影響しているのか。防災対策を強化しており、今年から防災部を発足した。防災部には平常時に夏祭りの手伝いを行ってもらう。
自治会長	昔から氏神を中心とした行事を行ってつながりを作っている。新しい行事を立ち上げるのが大変。3年前に子ども会は解散し、老人会は崩壊寸前。町内会を抜きたいという人もいる。接触を嫌がる時代ではあるが、何らかの形で顔をあわせる必要がある。
自治会長	町内の高齢化に加えて、高齢者の孤独化が進んでいる。対策を考えているが、個人の問題に介入するのは難しい。各組の組長にはそういう方と接触する機会があるので、声をかけて状況を確認してもらうようにしている。先月の30日に子どもは地域の宝事業のお祝いをした。内容は食事会、マジックショーなどを行った。
自主防災会	台風4号が来た際に町内の見回りを行った。被害現場の確認をしたとき、被害を受けた住民との出会いがあり、助かったと感謝された。西旭ヶ丘の40周年記念イベントを行う予定。内容については検討中。花壇づくりをやっている。
自治会長	1月にお楽しみ会、7月に夏祭りを行うが1000人以上集まっている。市内のソフトボール大会の通知が来たので、体育部長に頼んで参加を募ったが、参加者は0だった。35年前にソフトボール部があったが、当時は25名部員がいた。子どもは地域の宝事業の対象者は23名いたが、お祝いの招待を受諾したのは7名ほどだった。もっと多くの子どもに来てほしかった。対象を5歳くらいまで広げてみてはどうか。事業はなぜ3年間なのか。
自治会長	廃品回収などを行っている「ボランティアの会」が地域の祭りを開催する。シャガリ子ども会が演奏を行うが、大人が指導を行ってくれる。祭りの中でピンゴ大会などのイベントを開催するので子どもが楽しんでくれている。子どもは地域の宝事業の対象者は13名で、同意者は5名だった。町内会に無理やり入れられたと愚痴を言われることもあるので、市からの町内会に入るよう働きかけてほしい。一斉清掃を年2回行うが、男の方も出てくれるし、雑談もできるのでふれあいができていると思う。
子ども会連合会	子どもの数は減っているが、子ども会衰退の主な原因は親が忙しくて子ども会活動に参加できないことだと思う。子ども会だけで活動を行うのは困難なので、自治会などの周りの人たちに助けをもらいながら地域の中に溶け込んでいきたい。

発言者	発言要旨
小学校PTA	月1回、廃品回収を行っており、得られた収入を7月の祭りの物品、防災ラジオ、1月のどんど焼きの資金にしている。廃品回収を子ども会と協働で行っている。去年11月にPTAの交流行事を行ったが、子ども達と一緒に三島サンバを踊った。
小学校長	山田小学校は学区が広いので、遠い子は徒歩40分ほどかかる。登下校の安全について子ども達の意識を高めたいが、地域の皆様の協力も必要。自治会などには楽しい地域行事を企画してもらっているが、子どもには地域行事でしか様々な世代と交流を持てる機会はないのでありがたい。スクールガードの姿は時々見かけるが、あまり把握していない。
民生委員	西旭ヶ丘は一人暮らしの高齢者が8名いる。問題はアパートの情報で、住人がいつ入っていつ出たのかわからない。個々の詳細な状況を把握することが難しい。子どもは多いが、子ども会に入っているのは12、3人程度で行事ができない。入らない理由は共働き、塾、稽古などで子どもも親も忙しい、役員の負担が大きいなど。
民生委員	一人暮らしの高齢者調査と災害時の要援護者の調査が仕事で、50名程度を担当している。一人民生委員を増やしてもらえたので楽になった。把握している他にも、災害時に援護が必要な状況の家庭はまだある。シャギリ、餅つき大会は子ども会主催で行われた。防災訓練は三島市西区の方に来てもらった。長年会長をやった人の後を引き継ぐのは大変。
女性懇話会	防災訓練、祭り、一斉清掃などに参加している。月1回の読み聞かせ、語り部などを12、3名の参加で行っている。青少年健全育成のために夏休みに昔話をしてきたが、参加者が減少を続けたので昨年なくなってしまった。立派な家に高齢者が一人暮らしをしているケースが多くなった。
老人会	子ども会などとの交流はないが、老人会内部でのきずなづくりをしている。公園の清掃、輪投げ大会、ゲートボール大会など行事はたくさんある。役員をやる人がいない。福祉センターに毎月1回集まってカラオケなどを行っている。
老人会	老人会の目的は、会員相互で親睦を図って健康になることと、地域活動を通じて地域貢献すること。活動が充実しているので、会員は増加している。町内会長に依頼して回覧板を回しており、今年は新たに6名が入会してくれた。町内開催事業への協力を行っている。登校時の見守りを5年近く行っている。
自治会長	錦田地区は43町内、学区が5つ。自治会連合会でも校区割りにしてくれれば避難所の問題を解決できると思う。私も役員として働きかけるが、市も考えてほしい。現在は地区の町内会連合会も体育振興会も事実上解散してしまったが、せめて地域で祭りくらいは開催できる地区にしたい。
自治会長	子どもは地域の宝事業は、対象者7名中同意者1名だった。旭ヶ丘町内会は世帯名簿を99%把握しているので町内会に任せてほしいとお願いしたが、駄目だと言われた。形式にこだわっているのでは。
民生委員	交通に関する担当課がわかりにくい。土木課、地域安全課など。